



# 学校だより 9月号

石川小学校 学校教育目標  
育てます。「石川魂」

令和4年8月29日  
横浜市立石川小学校  
校長 寺園 淳

## 南区子ども会議

児童支援専任教諭 新沼 睦美

夏休みが終わり子どもたちは、今日から登校となりました。夏休み中は、いかがお過ごしでしたでしょうか。今年度から児童支援専任教諭を務めております、新沼と申します。児童支援専任教諭として子どもたちにより近い立場で子どもたちと接することができます。子どもたちが少しでも安心して登校できるよう支援してまいりますので、何かありましたらご相談していただければと思います。

タイトルにもある通り、今年度は3年ぶりに子どもたちが集まったの南区子ども会議が、8月31日(水)に開催されます。今では、ZOOM等で顔を合わせなくても誰とでも交流ができるようになり随分と便利にはなりましたが、やはり実際に顔を合わせて、その場の雰囲気を感じながら話ができることはとても嬉しいことです。また、人との関わりをもつ上で、インターネットや紙面、画面だけでは伝わらない大切なものがあると改めて感じさせられます。

南区子ども会議ですが、平成31年度から継続して「誰にとっても居心地の良い学校づくり～ネット世界でも気持ちよく過ごすために～」というテーマで児童生徒たちが話し合いを続けてきました。今年度は、昨年度決まった「ネットの4K」を中学校ブロックごとに具体化し、周知・徹底をしていきます。ネットの4Kとは、インターネットを利用する際の4つの心構えで、○確認する ○管理する ○気持ちを考える ○困ったら相談する の4点です。

平楽中ブロックでは、7月15日(金)に平楽中学校で、石川小、中村小、平楽中の各学校代表児童2名が集まり、南区子ども会議に向けての話し合いを行いました。石川小学校からは、6年生の下寺来渡さん、5年生の栗田詩恵奈さんが代表として参加しました。ネットの4Kを学校内だけではなく、家庭や地域にも知ってもらい、またインターネットの使い方について今一度見直していけるようにするためにはどうしたらよいか、について意見を出し合いました。そして、ネットについて親子で話し合うきっかけにできるようにするために、ポスターを兼ねた手紙を配付することになりました。この話し合いを受けて、各校で手紙を作成しているところです。

夏休み前に、4・5・6年生に向けてインターネットの危険性について、南警察署のスクールサポーターの方に話をさせていただく機会がありました。顔が見えない相手とのやりとりやライン、メールにおける言葉の選択ミスによるトラブルなど、日常の中に潜む落とし穴があること、自分で気を付けなければならないことについて確認しました。今回の子ども会議で話し合ったことを受けて、手紙ができましたら各ご家庭に配付させていただきます。そのときにはぜひ学年に応じて、お子様が安全で便利なコミュニケーションツールとしてインターネットを利用できるよう、ご家庭でも話題にさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。